



なつやすみの巨匠 © なつやすみの巨匠製作委員会

特別企画

映画の中の子どもたち

子どもを描いた日本映画の特集

特別企画

アッバス・キアロスタミ監督特集

イラン映画の巨匠・アッバス・キアロスタミ追悼上映



オリブの林をぬけて



そして人生はつづく



ライク・サムワン・イン・ラブ

アッバス・キアロスタミ監督特集

イラン映画の巨匠・アッバス・キアロスタミ追悼上映

会期：7月5日(水)～7月16日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は300円。(会員証の提示が必要です。)

7/5(水) 14:00 7/8(土) 11:00

パンと裏通り *Bread and Alley*

監督：アッバス・キアロスタミ
出演：レザ・ハシェミ メヘディ・シャハヴァンフル
1970年/35ミリ/モノクロ/11分/イラン/日本語字幕付き



おつかいでパンを買った少年は路地を通って帰ろうとするが、犬が少年の前をふさぐ。少年は犬が怖くて通れなくなる。シンプルで微笑ましい作品で、キアロスタミ監督のデビュー作。

トラベラー *The Traveller*

監督：アッバス・キアロスタミ
出演：マスウード・ザンドベグレイ ハッサン・ダラビ
1974年/35ミリ/モノクロ/72分/イラン/日本語字幕付き



10歳の少年ガッセムはサッカーが大好き。テヘランで行われる試合を見たいガッセムは親の金を盗んだり、先生に嘘をついたりなどして懸命にお金を工面する。そして汽車に乗りやっとの思いでスタジアムにたどり着く。キアロスタミ監督初の長編映画。キアロスタミ監督らしい結末が見物。

7/6(木) 11:00 7/12(水) 14:00

友だちのうちはどこ?

Where is the Friend's Home?

監督：アッバス・キアロスタミ
出演：ポバック・アマドプール
アマッド・アマドプール
1987年/35ミリ/カラー/83分
イラン/日本語・英語字幕付き



アマッドは自宅に帰ると級友レザのノートを間違えて持って帰ったことに気が付く。アマッドはレザにノートを返そうと隣村まで行くが、なかなかレザの家が見つからない。友達の家を探して何度も山道を往復するアマッドの姿をカメラは静かに追い続ける。さわやかな感動と胸を打つラストシーンで、本作はキアロスタミ監督の代表作として世界中の映画ファンに愛された。80年代イラン映画の代表作である。

7/14(金) 14:00 7/16(日) 11:00

ホームワーク *Homework*

監督：アッバス・キアロスタミ
出演：アッバス・キアロスタミ
1989年/16ミリ/カラー/86分
イラン/日本語字幕付き



キアロスタミ監督が小学生たち取材し、宿題を通して学校教育の現状についてリサーチしようとするドキュメンタリー。子どもにとって宿題とは何かを考えることでイランの小学校教育と社会の問題に踏み込んでいく。撮影は87年テヘランの小学校で行われ、キアロスタミ監督自身がインタビューする。

7/6(木) 14:00 7/16(日) 14:00

クローズ・アップ *Close Up*

監督：アッバス・キアロスタミ
出演：ホセイン・サブジアン
モフセン・マフマルバフ
1990年/35ミリ/カラー/97分
イラン/日本語字幕付き



ある青年が著名な映画監督モフセン・マフマルバフになりすました罪で逮捕される。事件に興味を持ったキアロスタミ監督は刑務所に面会に行き、被害を受けた家にインタビュー、さらに裁判の撮影許可を得る。テヘランで実際に起きた事件を再現しながら、ドキュメンタリーを組み込んで製作した作品。キアロスタミ監督初期の代表作の1本である傑作。

7/7(金) 11:00 7/15(土) 11:00

そして人生はつづく *And Life Goes On...*

監督：アッバス・キアロスタミ
出演：ファルハッド・ケラドマンド
フーヤ・バイヴァール
1992年/35ミリ/カラー/91分
イラン/日本語字幕付き



1990年イラン北部で地震が起きる。そこは「友だちのうちはどこ?」のロケ地であり、キアロスタミ監督は出演者の安否を確かめるために現地に向かう。そして被災した人々などそこで出会った人を記録し、ドキュメンタリーとフィクションが融合した作品として完成させた。映画は被災した人々に捧げられたものだが、映画とは何かというキアロスタミ監督の問題意識が表現された作品でもある。カンヌ映画祭ロッセリーニ賞を受賞。

7/7(金) 14:00 7/15(土) 14:00

オリーブの林をぬけて

Through the Olive Trees

監督：アッバス・キアロスタミ
出演：ホセイン・レザイ
モハammad・アリ・ケシャヴァース
1994年/35ミリ/カラー/103分
イラン/日本語字幕付き



「そして人生はつづく」の映画撮影現場。夫婦の夫役に抜擢されたホセインだが、妻役のタヘレガセリフを言えなくなる。実はホセインは実際にタヘレに求婚して親に断られていたのだ。「友だちのうちはどこ?」から続く「ジグザグ道三部作」の完結編。詩的で美しいラブストーリーで、キアロスタミ監督の国際的評価を決定づけた作品。

7/12(水) 11:00 7/14(金) 11:00

キアロスタミとの一週間

A Week With Kiarostami

監督：茂原雄二
出演：アッバス・キアロスタミ
ファザード・ソラビ
1999年/デジタル/カラー/90分
日本/日本語字幕付き



キアロスタミ監督の「風が吹くま」(99年)を撮影しているイラン西部のクルド人の村に密着し、世界で初めてキアロスタミ監督の撮影方法を記録したドキュメンタリー。俳優やスタッフと監督のやりとり、台本がなくその場のひらめきで進行する撮影の様子などが記録されている。

7/9(日) 11:00

シーリーン *Shirin*

監督：アッバス・キアロスタミ
出演：ジュリエット・ピノシュ
ニキ・キャリミー
2008年/デジタル/カラー/92分
イラン/日本語字幕付き



叙事詩「ホスローとシーリーン」はベルシャのホスロー王と美女シーリーの愛の物語。本作では「ホスローとシーリーン」に基づく映画が上映されるが、我々観客が見るのはその映画を観ている女優たちだけである。映画は100人を超える女優たちの顔を次々に写しだし、彼女たちはクライマックスには涙を流す。キアロスタミ監督による驚愕の実験作。劇場未公開作品。

7/5(水) 11:00 7/8(土) 14:00

7/13(木) 11:00

トスカーナの贋作 *Certified Copy*

監督：アッバス・キアロスタミ
出演：ジュリエット・ピノシュ
ウィリアム・シメル
2010年/デジタル/カラー/106分
フランス=イタリア
日本語字幕付き



©Laurent Thurin Mal

イタリア南トスカーナの村。イギリス人ジェームズが出版した本の講演にやって来る。そこにギャラリーを経営する女性がやって来る。別の日ジェームズはギャラリーを訪れ女性とドライブに出かける。キアロスタミ監督が初めてイラン以外の国で制作した作品。物語が進むうちに観客を混乱させる内容であり、マジックのような物語に最後まで目が離せない。ジュリエット・ピノシュは本作でカンヌ映画祭主演女優賞を受賞。

7/9(日) 14:00 7/13(木) 14:00

ライク・サムワン・イン・ラブ

Like Someone in Love

監督：アッバス・キアロスタミ
出演：奥野匡
高梨臨
2012年/デジタル/カラー/109分
日本=フランス



ワタナベタカシは80歳を過ぎた元大学教授。ある日死んだ妻に似た女性・明子をデートクラブで見つけ家に呼ぶ。翌日明子を大学まで送るワタナベだが、大学の入口には明子の恋人のノリアキが待っており、ワタナベを明子の祖父と勘違いする。キアロスタミ監督が日本で制作した作品で本作が遺作となった。わずか3人の登場人物による1日の物語だがそのリアリティーの素晴らしさは見事である。

映画の中の子どもたち

子どもを描いた日本映画の特集



泥の河

会期：7月17日(月・祝)～8月6日(日) ※休館日・休映日除く
観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。
(手帳や保険証などの提示が必要です。)
※「わの会」会員の方は300円。(会員証の提示が必要です。)

7/20(木) 11:00 7/22(土) 11:00 7/30(日) 11:00

奇跡

監督：是枝裕和
出演：前田航基 前田旺志郎
2011年/35ミリ/カラー/128分/「奇跡」製作委員会



©2011「奇跡」製作委員会

航一と龍之介は大阪に住む小学生の兄弟。家族4人で暮らしていたが、両親が離婚し航一は母親と共に鹿児島に、龍之介は父親と共に福岡で暮らすことになる。航一の願いはまた4人で一緒に暮らすこと。ある日航一は九州新幹線の最初の列車の上りと下りがすれ違う時に奇跡が起きると噂を聞く。航一は龍之介に声をかけ列車がすれ違う熊本に集合する。

九州新幹線開通記念として企画された作品。主役の二人はお笑いコンビ「まえだまえだ」として活躍する実の兄弟。二人を主役にしたことで映画の内容が大きく変わったと是枝監督は語っており映画でも素晴らしい存在感を見せる。現在アイドルとして活躍する橋本環奈なども子役として出演。夢を持つ子どもたちへの温かい視線に溢れる秀作である。

講演

7/23(日) 14:00～14:50

「福岡発の映画を作る楽しさ」



講師：中島 良 (映画監督)

1983年、山梨県生まれ。2007年「俺たちの世界」が第29回びあフィルムフェスティバルで審査員特別賞を含む3賞を受賞。同作でニューヨークアジア映画祭最優秀新人賞受賞。2009年「RISE UP」で商業映画デビュー。「なつやすみの巨匠」製作後、福岡の魅力に惹かれ移住。



講師：入江 信吾 (脚本家)

1976年福岡市早良区生まれ。修猷館高校卒業。神戸大学卒業後テレビ朝日系「相棒 Season4」で脚本家デビュー。「なつやすみの巨匠」では企画・脚本を担当。その他映画「白夜行」、アニメ「黒子のバスケ」「ログ・ホライズン」などで脚本を執筆している。

※講演は有料で15時からの「なつやすみの巨匠」とセット料金です。※開場は開演の30分前。

7/23(日) 15:00 7/26(水) 11:00
8/4(金) 11:00

なつやすみの巨匠

監督：中島良
出演：野上天翔 村重マリア
2015年/デジタル/カラー/112分
「なつやすみの巨匠」製作委員会



©なつやすみの巨匠製作委員会

福岡市能古島に住む4年生のシュンは父親から古いビデオカメラをもらう。映画好きのシュンは友達と映画を作ろうとするのだがヒロインが見つからない。ある日シュンはユイという少女を見つけ「お前を女優にする」と口説き始める。福岡市出身の入江信吾が脚本を執筆。子ども達も福岡でオーディションされた。福岡の魅力が凝縮したようなノスタルジックな作品。

7/17(月・祝) 11:00 7/27(木) 11:00
8/2(水) 11:00

風の又三郎

監督：島耕二
出演：片山明彦 風見章子
1940年/35ミリ/モノクロ/96分
日活



©日活

東北の小学校。夏休みの後、高田三郎という少年が転校してくる。皆は三郎を「風の又三郎」に違いないと噂する。ある日子どもたちは山に遊びに行く。少年の一人嘉助が迷子になるのだが、嘉助は雨の中でガラスのマントを着て歌う三郎を目撃する。宮澤賢治の小説を映画化した作品。ミニチュアを使った特撮も見事であり原作の詩情を上手く表現した幻想的な作品。※作品が古いため状態が良くありません。ご了承ください。

7/17(月・祝) 14:00 7/22(土) 14:00
7/28(金) 14:00

少年時代

監督：篠田正浩
出演：藤田哲也 堀岡裕二
1990年/35ミリ/カラー/117分
「少年時代」製作委員会



©「少年時代」製作委員会

昭和19年10月。東京で暮らす5年生の風間進二は富山の親戚の家に疎開する。学校の級長の武は快く進二を迎え入れてくれた。しかし武は高圧的な態度でクラスを仕切っていることが分かる。藤子不二雄Aの漫画「少年時代」を原作とした映画。原作者が篠田監督に直接映画化を依頼しており、大人社会の縮図のような子ども達の関係が描かれる。井上陽水の主題歌もヒットした秀作。

7/20(木) 14:00 7/27(木) 14:00
7/29(土) 14:00

誰も知らない

監督：是枝裕和
出演：柳楽優弥 YOU
2004年/35ミリ/カラー/141分
「誰も知らない」製作委員会



©2004-2007「誰も知らない」製作委員会

あるアパートに母親のけい子と4人の子供が越してくる。子供たちの父親はみんな違って、学校にも通っていない。ある日母親がいなくなる。長男の明は母親が戻ることを信じてみんなの世話をする。1987年に東京で実際におきた事件を元に映画化した作品。育児放棄を扱った映画だが、懸命な明の姿が胸を打つ。主演の柳楽優弥は日本人初のカンヌ映画祭主演男優賞を史上最年少で受賞した。

7/21(金) 14:00 7/23(日) 11:00
7/28(金) 11:00

お早う

監督：小津安二郎
出演：佐田啓二 久我美子
1959年/35ミリ/カラー/94分
松竹



©1959松竹株式会社

東京郊外の新興住宅地。林家の実と勇の兄弟は英語を習いに行くのと嘘をついてよく丸山家でテレビを見ていた。二人はテレビがほしくてダダをこね父親に叱られる。すると二人は口をきかないというストライキを始める。小津安二郎監督の50作目の作品。一種の長屋もののような雰囲気、テレビが各家庭に普及する当時の騒動がユーモア溢れる作品として描かれる。

7/21(金) 11:00 7/26(水) 14:00
8/5(土) 14:00

風の中の子供

監督：清水宏
出演：河村黎吉 吉川満子
1937年/35ミリ/モノクロ/86分
松竹



©1937松竹株式会社

5年生の善太と1年生の三平の兄弟は夏休みを迎えて大はしゃぎ。ところが父親が会社を辞め私文書偽造の疑いをかけられ連行される。母親は親子三人で強く生きていこうとするが、母親の苦勞を知らない三平はいたずらばかりだった。原作は坪田譲治の児童文学の代表作で、映画も清水宏監督の代表作としてよく知られている。映画は38年にヴェネチア映画祭に出品され、好評を博している。

7/30(日) 14:00 8/3(木) 11:00
8/5(土) 11:00

泥の河

監督：小栗康平
出演：田村高廣 加賀まり子
1981年/35ミリ/モノクロ/105分
木村プロダクション



昭和31年の大阪。食堂を営む板倉夫妻の息子・信雄は、ある日喜一という少年と知り合う。喜一は姉と母親と一緒に川に浮かぶ船に住んでいた。原作は宮本輝の同名小説。本作は小栗康平監督のデビュー作であり、戦後の一風景をモノクロの端正な映像で見事に描き出す。モスクワ映画祭銀賞などを獲得。小栗監督の出世作となった。

8/2(水) 14:00 8/4(金) 14:00
8/6(日) 14:00

二十四の瞳

監督：木下恵介
出演：高峰秀子 夏川静江
1954年/35ミリ/モノクロ/155分
松竹



昭和3年。大石久子は瀬戸内海小豆島の分校に赴任する。生徒は1年生の12人。久子は島の生活に馴染むのに時間がかかるが、次第に子どもたちもうちとける。しかしある日子どもたちのイタズラで足を痛めて学校を休むことになる。女教師と12人の生徒の戦争をはさむ18年間を描いた感動作。随所に歌われる童謡も叙情性を高めており、木下恵介監督の代表作であり、日本映画を代表する名作となった。

7/29(土) 11:00 8/3(木) 14:00
8/6(日) 11:00

絵の中のぼくの村

監督：東陽一
出演：松山慶吾 松山翔吾
1996年/35ミリ/カラー/112分
シグロ



絵本作家・田島征三と兄・田島征彦が少年時代を過ごした高知県の田舎を舞台とした作品。昭和23年。絵が好きな征彦と征三の双子の兄弟は、勉強をそっこのけで自然の中で遊びまわっていた。田島征三の同名のエッセイが原作。作者が「生涯で一番大切に、楽しい思い出がつまっている。」と語る少年時代の回想がスケッチ風のドラマとして描かれる。ベルリン映画祭銀熊賞、キネマ旬報主演女優賞(原田美枝子)など高く評価された傑作。



1 土	自主上映／映画監督 中島良の世界	
2 日	自主上映／福岡映画サークル協議会例会	
3 月	休館日	
4 火	休映日	
5 水	11:00 トスカーナの贋作	14:00 バンと裏通り／トラベラー
6 木	11:00 友だちのうちはどこ？	14:00 クローズ・アップ
7 金	11:00 そして人生はつづく	14:00 オリーブの林をぬけて
8 土	11:00 バンと裏通り／トラベラー	14:00 トスカーナの贋作
9 日	11:00 シーリーン	14:00 ライク・サムワン・イン・ラブ
10 月	休館日	
11 火	休映日	
12 水	11:00 キアロスタミとの一週間	14:00 友だちのうちはどこ？
13 木	11:00 トスカーナの贋作	14:00 ライク・サムワン・イン・ラブ
14 金	11:00 キアロスタミとの一週間	14:00 ホームワーク
15 土	11:00 そして人生はつづく	14:00 オリーブの林をぬけて
16 日	11:00 ホームワーク	14:00 クローズ・アップ
17 月祝	11:00 風の又三郎	14:00 少年時代
18 火	休館日	
19 水	休映日	
20 木	11:00 奇跡	14:00 誰も知らない
21 金	11:00 風の中の子ども	14:00 お早う
22 土	11:00 奇跡	14:00 少年時代
23 日	11:00 お早う	14:00 講演 15:00 なつやすみの巨匠
24 月	休館日	
25 火	休映日	
26 水	11:00 なつやすみの巨匠	14:00 風の中の子ども
27 木	11:00 風の又三郎	14:00 誰も知らない
28 金	11:00 お早う	14:00 少年時代
29 土	11:00 絵の中のぼくの村	14:00 誰も知らない
30 日	11:00 奇跡	14:00 泥の河
31 月	休館日	



1 火	休館日	
2 水	11:00 風の又三郎	14:00 二十四の瞳
3 木	11:00 泥の河	14:00 絵の中のぼくの村
4 金	11:00 なつやすみの巨匠	14:00 二十四の瞳
5 土	11:00 泥の河	14:00 風の中の子ども
6 日	11:00 絵の中のぼくの村	14:00 二十四の瞳

自主上映のお知らせ

7月1日(土) 映画監督 中島良の世界

「なつやすみの巨匠」の中島良監督のデビュー作を上映
 上映作品：①「俺たちの世界」13:00～
 ②「RISE UP ライズアップ」15:30～
 中島監督によるトーク 17:00～

料 金：600円(入替制、監督トークは無料)
 お問い合わせ：実行委員会事務局 TEL090-2163-1014

7月2日(日) 福岡映画サークル協議会例会

上映作品：「こころに剣士を」(2015年/99分/フィンランド=エストニア=ドイツ)
 ①11:00～ ②14:00～
 料 金：一般 当日1,400円(前売り1,200円)
 シニア 1,100円(当日のみ)
 主 催：福岡映画サークル協議会 TEL092-781-2817

※詳細については主催者に直接お問い合わせください。

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
 福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ
うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】
●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分
●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[TEL.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。

第379回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆
 日 時：2017年7月26日(水) 12:00～13:00 ※入場無料
 場 所：西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)
 曲 目：ドボルザーク作曲 弦楽四重奏曲第12番へ長調 Op.96「アメリカ」他
 演奏者：福岡ハイドン弦楽四重奏団
 主 催：西日本シティ銀行/公益財団法人福岡文化財団(TEL.092-473-6777)